

2026年度
世 界 史
(問 題)

〈R08203416〉

### 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

現代の我々は、文字を通して人類の過去の営みについて多くを知ることができる。古代メソポタミアの粘土板に記された楔形文字や古代エジプトの碑文に書かれた文字、そして中国殷王朝の甲骨文字などによる史料は、数千年前の様子を今日に伝えている。

文字の伝播を辿ることは、交易や文化の伝播を辿ることでもある。メソポタミアとエジプトをつなぐシリア、パレスチナでは古くから交易が盛んであり、紀元前には **D** 人やフェニキア人が栄えた。これらの人々が残した表音文字は今日のアルファベットの祖先とされる。22の文字からなるフェニキア文字はギリシア文字に、またフェニキア文字から派生したとされる **D** 文字はヘブライ文字やアラビア文字などに受け継がれた。古代ギリシア世界では今日のヨーロッパ言語の文字への系譜をもつギリシア文字が形成され、前5世紀ごろのアテネではイオニア式のアルファベットが採用されるなど表記の統一もはかられた。イタリアでは、地域性のある言語が古代ギリシア文字などに基づく文字を用いて表されていたが、やがてラテン人の言葉を表す文字として、ローマン・アルファベット、すなわちラテン文字が形成された。共和政ローマおよびローマ帝国の拡大とともにラテン語の社会的重要性が高まり、またローマ軍の文書にはラテン語が用いられたことやラテン語の聖書が作成されたことなどから、ラテン文字は西ヨーロッパ各地で主要な文字となった。ラテン文字は当初大文字のみであったが、筆記に適した書体が生まれるなど書き方にも変化がみられた。なかでもフランク王国において **K** が改良に携わったカロリング小文字体は、西ヨーロッパ言語のアルファベット小文字の書体の原型となった。

15～16世紀に活版印刷が実用化されて以降、西洋における文字情報の伝播の量と速度は増大した。印刷業や出版業が発展し、文書や書物は民衆が理解できる言葉で書かれるようになった。こうした変化は宗教改革や啓蒙思想の広まりを促し、近代社会の成立に向けて大きな役割を果たした。

問A 下線部Aに関して、古代メソポタミアに関する記述として最も適切なものを選べ。

1. アムル人はミタンニ王国を滅ぼした。
2. シュメール人は都市国家ウルを建設した。
3. アッカド人はバビロン第1王朝を起こした。
4. シュメール人は青銅器や鉄器を使用した。

問B 下線部Bに関して、古代エジプト文字の解読のきっかけとなったロゼッタ＝ストーンに書かれていない文字を選べ。

1. 神聖文字
2. 神官文字
3. 民用文字
4. ギリシア文字

問C 下線部Cに関して、シリア、パレスチナを含む古代オリエント地域では、アッシリア王国滅亡後、4王国が分立した。この4王国に含まれる国名を選べ。

1. パルティア
2. バクトリア
3. ニネヴェ
4. リディア

問D 下線部Dにはいる言葉として、最も適切なものを選べ。

1. アムル
2. フルリ
3. アラム
4. シュメール

問E 下線部Eに関して、フェニキア人により建設されたとされる都市として誤っているものを選べ。

1. ダマスクス
2. カルタゴ
3. シドン
4. ティルス

問F 下線部Fに関して、古代ギリシア・ヘレニズム世界における人名と学問の内容の組み合わせとして最も適切なものを選び。

1. エウクレイデス－万物の根源を数とした。
2. アリストファネス－地球の円周を算出した。
3. タレス－万物の根源を原子（アトム）とした。
4. アリスタルコス－地球は太陽の周りを回っているとした。

問G 下線部Gに関して、古代のアテネについての記述として適切なものを選び。

1. 奴隷の個人所有が一般であったスパルタと異なり、奴隷制が発達しなかった。
2. パルテノン神殿が建設されたとされる前4世紀後半には、僭主政治により民主政が危機に陥った。
3. ペリクレスのもとで、両親ともにアテネ市民である18歳以上の男性に参政権が与えられた。
4. クレイステネスの改革では、血統に基づかず、財産の多寡により参政権が定められた。

問H 下線部Hに関して、伝説によると、紀元前8世紀ごろのイタリア半島において都市ローマがその付近に建設されたとされる川の名前を選び。

1. ティベル（テヴェレ）川
2. ルビコン川
3. エルベ川
4. ポー川

問I 下線部Iに関して、帝政期のローマ帝国についての記述として誤っているものを選び。

1. 帝政後期にはラティフンディアに代わり、コ罗纳トゥスによる農業生産が行われた。
2. ミトラ教やイシス教のような密儀宗教が流行した。
3. アウグストゥスは市民の中の第一人者と自称し共和政を尊重したが、事実上は独裁であった。
4. 帝政末期には、テオドリック大王率いる東ゴート人がローマを略奪するなど、異民族の侵入が相次いだ。

問J 下線部Jに関して、ヴェルダン条約により成立した三つのフランク王国の王に含まれない人物の名前を選び。

1. ルートヴィヒ2世
2. ハインリヒ1世
3. シャルル2世
4. ロタール1世

問K 下線部Kにはカロリング＝ルネサンスの中心的人物の名前が入る。この人物の名前を選び。

1. アルクイン
2. アベラール
3. アウグストゥス
4. アンセルムス

問L 下線部Lに関して、グーテンベルクによる活版印刷の実用化は1440～1450年頃になされたとされる。次の中から、起こった年が1450年に最も近い事柄を選び。

1. ルターによる九十五カ条の論題の発表
2. スレイマン1世の即位
3. ヴァスコ＝ダ＝ガマによるカリカット到着
4. サファヴィー朝の成立

II 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

歴史上、強大な帝国の衰退は、長期的な過程をたどることが多い。唐の勢力は、その最盛期において東部ユーラシアの広大な地域を覆ったが、安史の乱はその国家体制に重大な転換をもたらした。縮小した領土や強大な隣国、そして国内に割拠する軍事勢力に対処すべく、唐の中央政府は様々な改革を行い、その後、1世紀以上にわたる存続に成功した。その後、9世紀後半の諸反乱の鎮圧に失敗した唐は、907年に滅亡したが、その記憶は、唐の旧領土に成立した諸国家に多大な影響を与える。中でも、華北に興亡した一連の国家のうちのいくつかは、唐の後継者としての正統性を抱き、北方に勃興した強大なキタイ（契丹）との関係に苦慮しつつ、唐の旧領の再統合を志向した。北宋が征服した領域は、最終的に唐の旧領には及ばなかったが、この唐から宋にかけての「中国の崩壊と再統合」は、歴史的な「中国」の形成・維持の思想的基盤を考える上で、重要な示唆を与える。

問A 下線部Aについて、隋や唐の支配者層は、北魏の時代に北方の辺境地帯に設置された軍事拠点に関連した人々にルーツを持つとされる。その軍事拠点が関連して、520年代に起きた反乱の名称を一つ選べ。

1. 永嘉の乱
2. 侯景の乱
3. 八王の乱
4. 六鎮の乱

問B 下線部Bについて、唐が支配下においた諸民族を監督させるために設置した機関の名を一つ選べ。

1. 尚書省
2. 折衝府
3. 都護府
4. 親王府

問C 下線部Cについて、最終的に唐の側に立ち、反乱鎮圧に大きな役割を果たした勢力を一つ選べ。

1. 東突厥
2. ウイグル
3. キルギス
4. 突騎施

問D 下線部Dについて、突厥が滅ぼした国家を一つ選べ。

1. エフタル
2. ササン朝
3. 高句麗
4. 北齊

問E 下線部Eについて、半自立的な勢力を築く節度使が、唐の統治に大きな影響を及ぼしたが、その背景となる兵制の名称を一つ選べ。

1. 衛所制
2. 府兵制
3. 保甲制
4. 募兵制

問F 下線部Fについて、唐が実施した両税法を建議したとされる宰相の名を一つ選べ。

1. 楊業
2. 楊堅
3. 楊炎
4. 楊震

問G 下線部Gについて、9世紀後半に反乱軍の首領として頭角をあらわし、やがて唐を滅ぼした人物の名を一つ選べ。

1. 黄巢
2. 朱全忠
3. 耶律阿保機
4. 李自成

問H 下線部Hについて、この時代に、現在の河南省にあたる地域で、大運河と黄河が接する地域の都市が首都として勃興したが、その都市を含む州の名称を一つ選べ。

1. 幽州
2. 揚州
3. 青州
4. 汴州

問I 下線部Iについて、年代順に並べて2番目に建てられた国家を一つ選べ。

1. 後晋
2. 後唐
3. 後漢
4. 後梁

問 J 下線部 J について、キタイ（契丹）が華北の情勢に介入して手に入れた「燕雲十六州」の中で、現在の山西省北部の中心都市で、雲州と呼ばれた地域にある都市の現在の名を一つ選べ。

1. 太原
2. 包頭
3. 張家口
4. 大同

問 K 下線部 K について、唐の旧領土に成立した国家の一つに西夏があったが、西夏と北宋の間で1044年に締結され、前者が後者に臣下の礼をとる代償として、後者が前者に絹・銀・茶を毎年与えるとした和約の名を一つ選べ。

1. 慶曆の和約
2. 紹興の和約
3. 辛丑和約
4. 隆慶和議

問 L 下線部 L について、17世紀に「亡国」と「亡天下」に関して、その著書『日知録』で論じた人物の名を一つ選べ。

1. 畢沅
2. 顧炎武
3. 錢大昕
4. 黄宗羲

Ⅲ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

帝国 (Empire) はその語源としてはラテン語の *Imperium* に由来し、絶対的な命令、権力などを表していた。しかし、19世紀末以降の世界における帝国主義は特別な意味をもつ概念となった。1870年代以降欧米列強は産業界、金融界との結びつきを強め、排外的なナショナリズムを鼓舞し、アジア、アフリカなどに植民地を貪欲に求めていった。この頃の帝国主義には独自の経済政策があり、また黄禍論に見られるような人種差別思想が見られる。

産業革命によって先進資本主義国となった19世紀のイギリスではとくに保守党のディズレーリ首相が帝国主義政策を進め、領土の拡大に努めている。他にもこの時期の帝国主義者として挙げられるのはセシル＝ローズであろう。しかし、アジア、アフリカなどでは欧米植民地支配強化に対する抵抗も見られるようになった。

ヨーロッパ列強の中では比較的小国であるオランダは、東南アジアの植民地化を進めた。ジャワ島では西部の J-1, 中・東部に位置する J-2 がオランダの支配下に入った。オランダは政府栽培制度を始め、植民地からの利益拡大を図った。しかし、オランダ政府は現地人に近代教育を普及させ、現地の知識人はジャワ文化の再評価に進み、民族意識の形成を目指す L を結成した。

問A 下線部Aに関して、1870年代のヨーロッパ、アメリカで起こった出来事はどれか。

1. パリ＝コミュン政府樹立
2. ロシア、農奴解放令布告
3. リンカン、奴隷解放宣言発布
4. ドイツ、オーストリア、イタリア三国同盟結成

問B 下線部Bに関して、欧米の企業、企業家について誤った説明はどれか。

1. ドイツ＝アルフレート＝クルップは鉄鋼業で名を馳せた。
2. ドイツ＝ゴットリープ＝ダイムラーは自動車製造会社を創業した。
3. アメリカ＝ジョン＝ピアポント＝モーガンは投資銀行を成功させ、金融業界の中心人物として活躍した。
4. アメリカ＝ロックフェラー1世が起こしたスタンダード石油会社は、反トラスト法の適用を受けず発展を続けた。

問C 下線部Cに関して、帝国主義時代の経済について最も適切な説明はどれか。

1. 歴史派経済学を政策立案の基本としていた。
2. 貿易差額主義を経済政策の原則とした。
3. イギリス、フランスを中心として資本輸出（国外投資）によって経済的に優位に立った。
4. マルサスは貧困の改善のため、人口の抑制を主張した。

問D 下線部Dに関して、日清戦争での日本の勝利をきっかけとして、日本人、中国人などの黄色人種が白人に災いをもたらすと警告したヨーロッパの君主は誰か。

1. ロシア、アレクサンドル2世
2. ドイツ、ヴィルヘルム2世
3. イギリス、ジョージ5世
4. ロシア、ニコライ2世

問E 下線部Eに関して、19世紀のイギリスで起こった出来事のうち年代順で古いものから2番目に起こったものはどれか。

1. 航海法廃止
2. カトリック教徒解放法成立
3. 人民憲章公表
4. 団結禁止法廃止

問F 下線部Fに関して、ディズレーリ首相の事績ではないものはどれか。

1. スエズ運河株式会社の株の一部を買収した。
2. 1878年、ベルリン会議に出席した。
3. 第1回万国博覧会を成功させた。
4. ヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。

問G 下線部Gに関して、セシル＝ローズについての説明で誤っているものはどれか。

1. 南アフリカで金鉱山、ダイヤモンド鉱山を経営し、富を築いた。
2. ケープ植民地首相を務めた。
3. カイロとケープタウンを電信、鉄道で結ぼうと考えていた。
4. ローデシア植民地は彼の名にちなんで命名され、現在のタンザニアにあたる。

問H 下線部Hに関して、アジアにおける欧米列強による植民地化とそれに対する抵抗について、年代順に古いものから順に2番目に当たるのはどれか。

1. インドシナ共産党結成
2. ベトナム光復会結成
3. イギリス、インドに対してローラット法制定
4. フィリピン＝アメリカ戦争勃発

問I 下線部Iに関して、アフリカにおける欧米列強による植民地化とそれに対する抵抗について、年代順に古いものから順に2番目に当たるのはどれか。

1. イタリア、エチオピア間にアドワの戦いが起こった。
2. フランスがモロッコの一部を保護国化した。
3. エジプトでウラービー運動が起こった。
4. アフリカ民族会議（ANC）が結成された。

問J 空欄 **J-1** **J-2** に当たる適切な語の組み合わせはどれか。

1. マタラム－アチェ
2. バンテン－アチェ
3. マタラム－バンテン
4. バンテン－マタラム

問K 下線部Kに関して、誤った説明はどれか。

1. 強制裁培制度と言われることもある。
2. コーヒー、サトウキビなどを低価格で買い上げた。
3. これによって得られた利益は、オランダ本国を潤した。
4. 19世紀末、オランダ領東インド総督の命令により始められた。

問L 空欄 **L** に当てはまる語はどれか。

1. ブディ＝ウトモ
2. プールナ＝スワラージ
3. ヒラーファト
4. サレカット＝イスラム

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。また、下線部14に関連して、同法は1820年のミズーリ妥協 (Missouri Compromise) を骨抜きにしたと言われているが、そのように言われている理由と、同法はまた南北間の緊張を高めたとも言われているが、その理由について120字以内で説明しなさい。なお、句読点・算用数字も1字とする。

アメリカは、建国以来「自由と平等」を理念に掲げながらも、人種や立場の違いに基づく分断を絶えず経験してきた。独立宣言の起草の際も、ジェファソンは草案にイギリス国王である 1 が国際的な奴隷貿易を行っていたことを強烈に非難する旨の文章を入れていたが、最終的には削除された。そもそも同宣言を採択した 2 の構成員の多くは白人男性の地主や商人であった。そのため、同宣言における “We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal...” との表明は、仮に “men” を男性だけでなく、人類全体 (mankind) を指していたと捉えたとしても、そこに書かれていた理念と、実際に想定されていた「人類」との間には大きな隔たりが存在していた可能性があった。

独立宣言後も、アメリカでは、連邦派と反連邦派の分断が見られた。前者の連邦派に関しては、比較的小規模な州や商業重視の州にそうした考えを採る傾向がみられ、たとえば、イギリスから安く高品質な製品が輸入されていたことに対し、 3 政策を採ることを主張した。これに対し、後者の反連邦派に関しては、大規模農業がみられた州や辺境の州においてそうした考えを採る傾向がみられていた。ただ、これらはいくまでも傾向にすぎず、同じ州の中でも「都市 vs 農村」、「商業 vs 農業」または「エリート vs 農民や労働者」といった観点で対立がみられていた。連邦における政治はしばらくの間連邦派が主導していたが、第3代大統領には反連邦派で 4 党を主導していたジェファソンが就任し、このことは彼が大統領に当選した年をとって「 5 年の革命」と呼ばれた。

19世紀前半には、北部では自由労働を基盤とした農業や工業化の進展、南部では奴隷制に依拠した綿花プランテーション経済の拡大という、対照的でありながら相互に依存する二重構造を抱えるようになっていた。こうした中、西部へ領土を拡大していく際、1787年の北西部条例 (Northwest Ordinance) に従って 6 が新たな州となるたびに、当該州を「自由州」とするか「奴隷州」とするかということが大きな問題となっていったが、この対立は1820年のミズーリ妥協<sup>14</sup>や1854年のカンザス・ネブラスカ法などにより、南北間で一時的な調整が図られた。

その後、共和党のリンカンが大統領になると、南部諸州は連邦からの脱退を宣言し、南北戦争が勃発した。同戦争の帰結として奴隷制は廃止され、合衆国 7 第13条から第15条を通じて奴隷制の廃止や黒人の市民権の保障、黒人男性に対する投票権の保証などが図られた。その一方で、南部の綿花農園などでは、多くの黒人が 8 という小作人制度のもと、プランターに拘束され、厳しい貧困状態の中で労働させられた。また、いわゆる1877年妥協により、連邦軍が南部から撤退すると、黒人の権利保障も骨抜きにされ、南部各州を中心に成立していった 9 法を通じて人種隔離の制度化が図られていった。そのような法を制定した州では、黒人は実質的に投票権を奪われ、公共施設・教育機関・交通機関などにおいて「白人」と「黒人」との分離がなされた。加えて、1896年に 10 が下したプレッシー対ファーガソン事件判決により “separate but equal (分離すれど平等)” が合憲とされ、人種隔離は法的に正当化された。

第二次世界大戦後、国際社会の中でも「民主主義国家」としてのアメリカの正統性が問われるようになり、人種差別が国内外から批判的となった。1954年には 10 が下したブラウン対教育委員会事件判決は「分離教育は生来的に不平等で違憲」と断じて 9 法の合憲性を揺るがした。加えて、公民権運動の高まりは、政党支持層の大きな変化をも生じさせた。

21世紀に入ると、アメリカでは、オピオイド系鎮痛剤の濫用が社会問題となっていった。現在はオピオイド系の合成麻薬であり、ペペリジン骨格をもった 11 に関する深刻な被害が広がっている。当初は、ラストベルトやアラチャ地域において、白人を中心とする濫用が顕著だったが、近年は使用者が黒人・ヒスパニック層、そして都市部にも拡大し、アメリカ疾病予防管理センター (CDC) の統計によれば、黒人の死亡率が白人を上回る州も出ている。これを 12 党は「メキシコ経由の麻薬流入」と位置づけ、移民の排斥や治安の強化を主張している。一方、 13 党は、こうした危機を「公衆衛生と社会的不平等」の問題として捉え、治療・リハビリ・製薬会社への責任

追及を重視する主張をしており、公民権期以降の「平等の保障」という伝統的スタンスを継承してきている。こうしてみると、いわゆる **11** 危機は、新しい問題でありながら、両党の歴史的な対立フレームの延長線上にあるといえる。

アメリカにおける「分断」は、しばしば国家制度や政党政治の再編をもたらすとともに、ときに社会運動を通じて解消が試みられてきた。しかし、問題は完全には解消することなく、形を変えて再び現れる。「課題は変わっても、分断の構造は再編されながら循環してきた」歴史でもある。近時の **11** 危機もまた、その連続性のまっただ中にあるといえよう。

〔以下余白〕

